

## 令和5年度事業計画

令和5年度は、新たに策定した第3次中期事業計画の初年度として、計画に盛り込まれた事業の着手および推進を行い、社会環境の変化に対応し効果的に事業を展開する。

主な取り組みとして、がん検診事業においては精度管理の維持向上に努めるとともに、健康情報の発信強化および受診勧奨センターの充実により検診受診率および精検受診率の向上を目指す。また、受診者の利便性を図る広域検診や集団検診業務の効率化に取り組み、受診者確保に努める。

ふくい健康の森管理運営事業に関して、県民健康センターは受診者のニーズに応じた健診やオプション検査の充実により新規受診者の確保に努めるとともに、WEBを活用した講座や女性に優しい健診施設の提供等により利用者満足度向上に努める。なお、令和5年度に予定される次期指定管理者申請に関しては、引き続き施設の指定に向け取り組む。けんこうスポーツセンターおよび生きがい交流センターは、施設間や関係機関との連携により利用者数の回復に努めるとともに、今後の対応については福井県の動向を注視し慎重に検討する。

### 1. 生活習慣病予防・健康管理に関する事業

がん対策基本法に基づき、県民全体のがん予防を推進するため、検診車の派遣等によるがん検診、県民健康センターでのがん検診を含めた健康診査事業を行い、一元的管理による効果的ながん対策に取り組むとともに、必要な情報の提供等を行う。

「心をひとつに ふくい応援基金」運用事業においては、引き続き、医療従事者等の勤務環境の改善等のため寄付を募る。

事業経費（総額） 653,313千円

#### (1) がん検診事業

##### ①精度管理の維持・向上

がん検診の信頼性・実効性を担保する精度管理の重要性を踏まえ、計画的な機器更新および感染症対策を行い、その一層の向上に努める。

- ・胃がん検診8号車のX線管球の交換
- ・子宮頸がん検診に使用する機器(細胞攪拌機)の購入

##### ②受診者確保事業

市町を超えた広域的な検診(広域検診)の促進や特定健診実施事業者との連携強化により受診者増を図る。

- ・広域検診受診者増の涉外活動実施(検診会場近隣の事業所への呼びかけ強化等)
- ・小規模事業所を対象にした検診の実施(出前検診)
- ・県、市町と協力した女性のための検診実施(休日レディース検診等)

### ③業務効率化

受診者が集団検診から個別検診へ移行傾向にあることから業務のIT化に取り組む。

- ・IT化促進のための職員研修や専門家への相談
- ・結果通知業務における紙媒体のデータ化による効率化

## (2) がん検診受診勧奨事業

検診や精密検査未受診を対象に勧奨を行い受診率向上を目指す。また市町の要望を把握し、受診勧奨センターの内容充実を図る。

勧奨人数：9,700人（4年度見込み：5,000人）

- ・市町の要望に応じた電話によるがん検診受診勧奨
- ・特定健診未受診者を対象とした圧着ハガキでのがん検診受診勧奨
- ・精密検診未受診者に電話による受診勧奨
- ・精密検診対象者（肺がん、大腸がん）にチラシを同封した受診勧奨

### がん検診受診者数

(単位:人)

	5年度計画		4年度見込み	
	集団	個別	集団	個別
胃がん	8,400	10,300	8,100	10,000
子宮がん	9,100	15,300	8,900	15,200
子宮がん(妊婦)	-	4,700	-	4,700
乳がん	10,550	10,100	10,200	9,900
肺がん	X線	25,700	24,850	21,300
	喀痰	270	150	240
大腸がん	29,900	19,900	28,800	19,100
計	83,920	82,550	81,090	80,350
合計	166,470		161,440	

## (3) 健康情報発信事業

がんをはじめとする健康に関する正しい情報の発信・普及啓発に努める。また、啓発活動や取り組み状況を広く発信するための仕組みづくりを行い、協会の認知度向上を図る。

- ・がんネットやホームページの内容充実
- ・がんネットやホームページの案内強化(封筒等でのPR、QRコードの発信)

#### (4) 健康診査事業(県民健康センター)

健診の精度管理と感染症対策を含めた施設運営の安全管理に努め、健康診査を実施する。受診者意見や要望を積極的に把握し、健診内容の充実、利用者の利便性向上に努め、利用者増を図る。

##### ① 受診者確保事業

従来の大口顧客（地方職員共済組合、公立学校共済組合等）との関係強化や新規事業所等への渉外活動の強化を図り、リピーターの確保や新規受診者獲得に努める。

- ・受診環境の整備
- ・退職者を対象とした受診勧奨の実施
- ・女性の健康支援を目的とした「女性の健診日」の周知
- ・女性の健診日限定での乳房超音波検査の実施

##### ② 利用者の利便性向上

受診者の要望に応じ、健診体制の整備に努め利便性の向上を図る。

- ・御意見箱による受診者の意見要望の反映と業務改善

#### コース別受診者数

(単位:人)

コース名	5年度計画	4年度見込み
総合	1,380	1,370
一般健診	3,720	3,700
特定健診	20	20
特定保健指導	160	150
その他の健診	330	330
計	5,610	5,570

#### (5) 無料健康相談・無料健康講座事業(県民健康センター)

一般県民を対象に県民健康センターや生きがい交流センターにおいて、健康・ストレス・病気等に関する講座や相談を実施する。

利用人数：340人（4年度見込み：330人）

#### (6) 啓発・キャンペーン事業

9月の「がん征圧月間」、10月の「ピンクリボン月間」をがん検診啓発月間とし、その期間中、イベントなどを集中的、連続的に展開する。またキャンペーンを通じてがん患者等の支援を行う。

① がん征圧月間（9／1～30）

他団体や企業と連携協力し、がん征圧月間広告等の掲示依頼、がん征圧月間ポスターや、パネル展開催、マスコミを利用した広告、広報活動等を強化して実施する。

② 県、市町との連携

県が開催する健康増進イベントへの協力および広報活動の連携や市町が開催する健康フェアへの参加を通じ、疾病予防と健康づくりの啓発活動に協力する。

③ 関係機関、団体等との連携

医師会やピンクリボンの会などの啓発活動に参画、協力を行う。

④ 日本対がん協会グループ福井県支部としての活動

リレー・フォー・ライフなどのイベント活動や患者支援活動を通じ啓発活動を行う。

⑤ 結核予防会福井県支部としての活動

啓発ブースの設置や結核予防ポスター等の配布、マスコミを利用した広告など啓発活動を実施する。結核予防週間（9／24～30）

⑥ 講演会・研修会の開催

市町が主催する講演会に講師派遣をするほか、従事者を対象に研修会を開催し専門分野に関する情報提供をする。

⑦ ふくいSDGsパートナーとしての活動

県民の健康づくりを支援するため、検診に関する啓発活動を実施する。また、子どもたちに楽しく継続して実践できるスポーツ教室を提供し、運動不足解消を支援する。

## （7）「心をひとつに ふくい応援基金」運用事業

新型コロナウイルス感染症対策の最前線で働く医療従事者等の勤務環境の改善等のため、福井県と連携して、県民等からの寄付からなる基金を造成し、医療従事者等に対して助成を行う。助成先は、学識経験者等からなる基金の配分委員会で決定する。

## 2. 健康づくり・体力づくり・生きがいがづくり推進事業

「ふくい健康の森」の施設を活かし、県民の健康づくり・体力づくり・生きがいがづくりを一体的に推進するための各種教室の開催や施設の提供を行う。県民健康センターではイベント実施等による内容の充実、スポーツセンター・生きがい交流センターでは施設間の連携や関係団体との連携によりターゲットを絞り利用者の強化を図る。また、SNS等の活用により施設情報を広く周知・拡散を行う。

事業経費（総額） 423,858千円

### (1) 健康増進各種教室・運動障害回復訓練事業（県民健康センター）

生涯を通じて積極的な健康づくりのために、運動・栄養・休養のバランスのとれた生活習慣の確立を目指して健康増進各種教室を実施する。また作業療法士による地域リハビリテーション事業（地域支援事業）の運動障害回復訓練事業を実施する。

健康増進各種教室利用人数： 220人（4年度見込み 140人）

運動障害回復訓練利用人数： 3,640人（4年度見込み 3,600人）

### (2) 運動プログラム指導事業・体力づくり教室事業（けんこうスポーツセンター）

個人の健康づくりへの支援として、トレーニングジムおよび温水プールでは利用者個々の運動目的に応じたプログラム発行や3か月減量講座の内容を明確な達成目標を設定するなど、きめ細かで質の高いアドバイスを行う。また、フレイル予防教室や子ども向け教室など対象者を絞った講座の提供、利用者ニーズの把握による内容更新等に努め類似施設との差別化を図る。

運動プログラム指導利用人数： 7,040人（4年度見込み： 6,700人）

各種教室 利用人数： 54,700人（4年度見込み： 52,100人）

### (3) 生きがいづくり推進事業（生きがい交流センター）

世代間の交流や趣味を広げ、楽しみながら生きがいづくりに取り組めるよう各種教室を開催する。また、関係団体や他業種との連携による催しを行い、広く県民への利用促進に取り組む。

文化講座ほか利用人数： 2,900人（4年度見込み： 2,600人）

### (4) 施設の提供事業

県民の健康づくりの総合施設として、各施設において健康づくり・体力づくり・生きがいづくりの機会と場所を提供する。また、安全安心な施設の管理運営に努める。

（県民健康センター）

健康増進を目的とした会議室や研修室等の貸出、がん教育やイベント教室等でのエントランスホールや運動指導室の利活用に努める。

利用者数： 720人（4年度見込み： 80人）

（けんこうスポーツセンター）

温水プールやトレーニングジム、テニスコート等の屋内外の各種運動施設など、安心して楽しく運動が実践できる場を提供する。

夏季繁忙期に向けては、家族連れの利用増加の取り組みとして、小学校低学年対象に無料券を配布し施設利用促進を図る。また、施設間連携事業として生きがい交流センターの交流ホールで体力づくり教室をライブ配信し、教室受講者枠を拡大し教室受講者増を図る。

**施設別利用者数****(単位:人)**

内 容	5年度計画	4年度見込み
スポーツセンター・温水プール	156,000	152,200
スポーツ公園	52,000	51,500
計	208,000	203,700

(生きがい交流センター)

「健康の森温泉」として、コンサート等の催事を通じ温泉としての魅力を高める。あわせて、公園来場者の誘客や、地域バスを利用した入浴プランのPR、旅行会社との連携企画、企業への営業等により利用者確保に努める。また交流ホールに子どもが遊べるスペースを設置し、若いファミリー層の利用促進に努める。

**施設別利用者数****(単位:人)**

内 容	5年度計画	4年度見込み
健康の森温泉	96,700	89,640
交流ホール・研修室等	6,900	6,200
計	103,600	95,840

**3. 健康管理・健康づくりに関する広報、調査研究事業**

がん検診を含めた生活習慣病予防・健康管理に関する事業と健康づくり・体力づくり・生きがいづくり推進事業に関する事業等、協会の事業全体の広報や調査研究を行う。

事業経費（総額） 3,316千円

**(1) 研究・研修事業****① 研究会等への参加および開催**

がん検診に関する読影精度の向上など健康管理・健康づくりの技術の進歩を図るため、各部位別研究会等へ参加および開催する。また学会等へ参加し研究成果を発表する。

令和5年度計画：26回（4年度見込み：26回）

**② 研究事業への支援・協力**

がん検診を県下一元的に実施していることを生かし、各研究への協力をを行う。

- ・ 特定臨床研究「福井県の対策型検診に参加した27歳～45歳で細胞診正常であった女性にHPV4価ワクチン（ガーダシル®）を接種することによるHPV16型とHPV18型の持続感染予防効果を評価する2群間比較試験」（福井大学産科婦人科）における検査とデータ処理の実施

## (2) 広報活動

健康管理協会、ふくい健康の森の広報の強化

営業広報推進チームにより、がん検診事業、健康の森管理運営事業の広報業務を取り纏め、全職員が一体となって戦略的に進めていく。健康の森通信については、掲載内容を見直し紙面を効果的に活用する。また、各 SNS を活用し、幅広い顧客へ即時的な情報発信に努めるなど、施設の特性に合わせたPR活動を実施し、効果のある広報を行う。

- ・ 各種関係、競技団体への会場利用勧誘(スケートボード協会、マレットゴルフ協会等)
- ・ 季刊誌「健康の森通信」による的確な情報発信
- ・ SNS 活用方法の習得のための研修会参加
- ・ 旅行会社等と連携し、施設を活用したプランの提供
- ・ ホームページのレイアウト等改善による PR 強化

## 4. 法人管理

健康管理協会の法人全体の管理、運営等を行う。

事業経費（総額） 5, 0 6 1 千円